

この文章では、(公財)日本水泳連盟 競技者登録システムWeb-SWMSYS (以下ウェブスミス)が2023年11月にリニューアルされたことに伴う変更点を説明します。

現時点で明らかになっている変更点について記載しますが、今後仕様が明らかになっていくのに伴って加筆していきます。

○パスワードの制限

パスワードは、大文字、小文字、数字、記号の組み合わせとなりました。
引き継ぎで不備が生じないよう県中体連水泳部の指示にしたがってください。

○選手登録

選手登録の際、以前は登録のみでしたが、新システムでは「申請」を行わないと終了せず、大会エントリーができません。申請の際には「登録費・・・」の表示がありますが、中学所属での登録費は無料です。

※左メニュー「登録費管理」→登録費申請(今年度)→登録選手を左の選択チェック→「申請」
→「まだ申請は完了していません・・・」→「申請実行」

○選手名文字制限

新システムでは、選手氏名に使用できる文字は第二水準までです。今まで登録できていた選手名も、更新の際に修正が求められます。

○大会エントリー

以前は大会エントリーを完了しなくてもエントリー情報が主催者に届きましたが、新システムではエントリーの確定をしないとデータが大会主催者に届きません。

締切前にエントリーの修正を行う場合は、「エントリーの取り消し」をします。

○提出書類

新システムでは、エントリー情報を印刷した書類は提出書類の体裁がありましたが、新システムでは、情報の羅列となりました。

これらの書類は、エントリーの確認や学校長に承認を得るための資料とし、プロ編会議にお持ちください。

提出書類については、改めて連絡します。